



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 254  
May  
2014

## トピックス

### メンバー国との防災協力推進

豪州政府・オーストラリア行政管理学院共催セミナー「危機管理：災害発生直後から復興段階に至るまでの政府・関係機関の取組」に参加・発表

### 国際会議への参加

国際防災戦略アジアパートナーシップ会合

ASEANワークショップ「緊急時における宇宙技術の利活用に係るメカニズムの検討」への出席

## Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia

© ADRC 2014

### ●メンバー国との防災協力推進

#### 豪州政府・オーストラリア行政管理学院共催セミナー「危機管理：災害発生直後から復興段階に至るまでの政府・関係機関の取組」に参加・発表

2014年3月19日から10日まで、豪州政府ならびにオーストラリア行政管理学院の共催により、同国西部のパース市で「危機管理セミナー：災害発生直後から復興段階に至るまでの政府・関係機関の取組」が開催されました。当日は西オーストラリア州内外から防災の実務関係者や学術機関関係者など150名以上の出席があり、アジア防災センター(ADRC)研究部ならびに国際復興支援プラットフォーム(IRP)事務局の河内が参加・発表を行いました。

まず、セミナーの中の発表において、ADRCのアドバイザー国でもあるオーストラリアでは、近年の同国東部におけるサイクロン等風害発生以降の復旧・復興段階、そして次なる災害に備えて災害予防対策が進んでいるが、さらにこれを推し進めるためにも日本の防災に関する技術、経験、教訓の活用の蓋然性が高い旨を述べました。また、大規模災害の発生時には、行政の対応に加えて、地域住民が平時から防災の備えをしておくことの重要性を述べるとともに、1960年以降に日本における風水害対策の強化と被害の軽減策や近年の気候変動対策、ADRCによる人材育成事業や防災教育、意識啓発プログラム等の具体的なプロジェクトを紹介しました。

ADRCとしては、IRPとともに、今後ともアジア・太平洋地域における災害発生地域の復興や地域の防災力強化に向けた支援を続けていきたいと考えています。この件についてのお問い合わせは、ADRC河内(kouchi@recoveryplatform.org)までお願いします。



(登壇者の西豪州政府危機管理担当局長と共に)

### ●国際会議への参加

#### 国際防災戦略アジアパートナーシップ会合

ADRCは、2014年4月22～24日に、タイのAmari Watergate Hotel Bangkokで行われた国際防災戦略アジアパートナーシップ会議に出席しました。この会議はアジア各国の防災行政担当者に加え、関連する国際機関を含め、約170名の参加者がありました。ADRCはこの会議で、宇宙航空研究開発機構(JAXA)とともに、本年3月に開催されたアジア防災会議(ACDR2014)での会議成果とセンチネルアジアプロジェクトに関する発表を行いました。3日間にわたる会議の内容は以下の通りです。

- ・第6回アジア防災閣僚会議(AMCDRR)に向けた準備
- ・各ステークホルダーグループとの関係維持

## 続き

・兵庫行動枠組み（HFA）の進捗状況把握と評価、HFA2に向けた施策の進捗状況の把握手法のあり方

今回の会議は、本年6月に同じくバンコクで開催が予定されている第6回アジア防災閣僚会議AMCDRR、さらには来年3月に仙台で開催されるWCDRRの準備会合としての役割も担っており、アジア地域でのHFAの成果やポストHFAに向けたインプットなどを中心に議論が行われました。

## ASEANワークショップ「緊急時における宇宙技術の利活用に係るメカニズムの検討」への出席

ADRCは、インドネシア（ジョグジャカルタ）で開催されたASEANワークショップ「緊急時における宇宙技術の利活用に係る国際的な仕組みの検討」に出席しました。本ワークショップは、宇宙技術に関連する機関、ASEAN防災人道支援調整センター（AHA Centre）、インドネシア国立航空宇宙研究所（LAPAN）、国際連合宇宙局（UNOOSA）、国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）が主催しました。本会議の目的は下記のとおりです。



- ・大規模災害時における宇宙技術及び情報に係る国際的枠組みの提供に関する基準の検討
- ・国際的枠組みではカバーできない災害に関する検討
- ・効果的な緊急対応を目的とした予防策の強化に関する検討
- ・緊急時における関連地図の整備とエンドユーザとの共有に関する検討

本ワークショップにおいて、ADRCからは、センチネルアジアにおける緊急観測の現状と傾向を説明するとともに、宇宙技術の利活用の重要性を次期の兵庫行動枠組み（Post-HFA）に位置付ける必要がある旨の報告を行いました。

### 問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は [editor@adrc.asia](mailto:editor@adrc.asia) までEメールをお寄せください。